



## 先生たちの夏休み

昨日22日(月)は、職員が集まって、研修や職員作業などを行いました。午前中の研修は、授業づくりについて、熊本市教育センターから指導主事を講師としてお招きし、授業づくりのポイントを学びました。帯西の日常的な教育実践に対して、高い評価を頂きましたが、そこに甘んじることなく、皆でこれからの授業づくりについて真剣に学ぶことができ、有意義な時間となりました。

次に、学年部ごとに分かれて、学級の子供たちの様子を振り返って、学級・学年で子供たちに有効な手立てや支援の在り方を共有していきました。そして、人権レポート研修を行いました。一学期あるいは、昨年度からの子供たちとの関わりの中での気づきを一人一人がレポートにまとめて報告し合いました。レポートにすることによって、人権問題を自分事として捉え、受け身にならずに自ら関わり、考え、発信することに繋がります。研修の「対話的な学び」によって「新たな気づき」を得て、そこに教員自身の学びが生まれると考えています。

午後は、先ず備品整理を行いました。法的にも「学校備品の全てを学校備品台帳に記載しなければならない。」と定められています。夏休み期間中に整理と照合をすることで、2学期以降の備品の有効活用に繋がると考えています。

そして、最後に職員作業を行いました。図書の本の整理をしたり、テントの大きさごとに目印を付けたり、家庭科室の整理をしたり、メダカの池の補修作業をしたりと、猛烈に暑い中でしたが、全員で協力し合って、汗を大量に流しながら取り組むことができました。長い一日となりましたが、帯西の教職員の夏の準備によって、2学期のさらなる教育活動の充実を図っていきたいと思います。

## 学びタイム

今日から学びタイムが始まっています。学級ごとあるいは学年ごとに学びの場所を決めて、1年生から6年生の子供たちそれぞれが、自分で決めた学習に取り組んでいました。教室の様子を覗いてみると、漢字の練習をする子供や計算に取り組んでいる子供、高学年の中には、裁縫に取り組んでいる子供たちもいました。先生たちも、夏休みのいいスタートが切れるよう、教室の中で子供たちにアドバイスをしたり、学びを見守ったりと、授業とは違う雰囲気、子供たちの「自分を育てる心」が伸びるよう寄り添っていました。学びタイムは26日(金)まであります。登下校中、暑さが予想されますので、暑さ対策をした上で参加をお願いします。

